

令和5年産

# 大崎稲作情報 第8号

令和5年8月22日発行

宮城県米づくり推進大崎地方本部  
大崎農業改良普及センター

TEL: 0229-91-0726 FAX: 0229-23-0910

<https://www.pref.miyagi.jp/site/osnokai/>

## 今回のポイント

- 収量・品質向上のため、落水時期は出穂後 30 日を目安としましょう。
- 適期刈取りと適正な乾燥調製に努めましょう。
- 収穫用機械・乾燥調製施設等の点検・整備は、早めに行いましょう。

## 1 気象経過と生育概況

### (1) 気象経過（7月第5半旬以降）

気温は過去5か年より、かなり高く推移しています。7月第6半旬～8月第1半旬の最高気温は34℃以上となりました。また、8月第2半旬以降の最低気温は24℃を超えています。日照時間は過去5か年より多く推移しており、7月第5半旬～8月第2半旬は150%を超えました。降水量は8月第3半旬にまとまった降雨があったものの、過去5か年よりかなり少なめに推移しています。

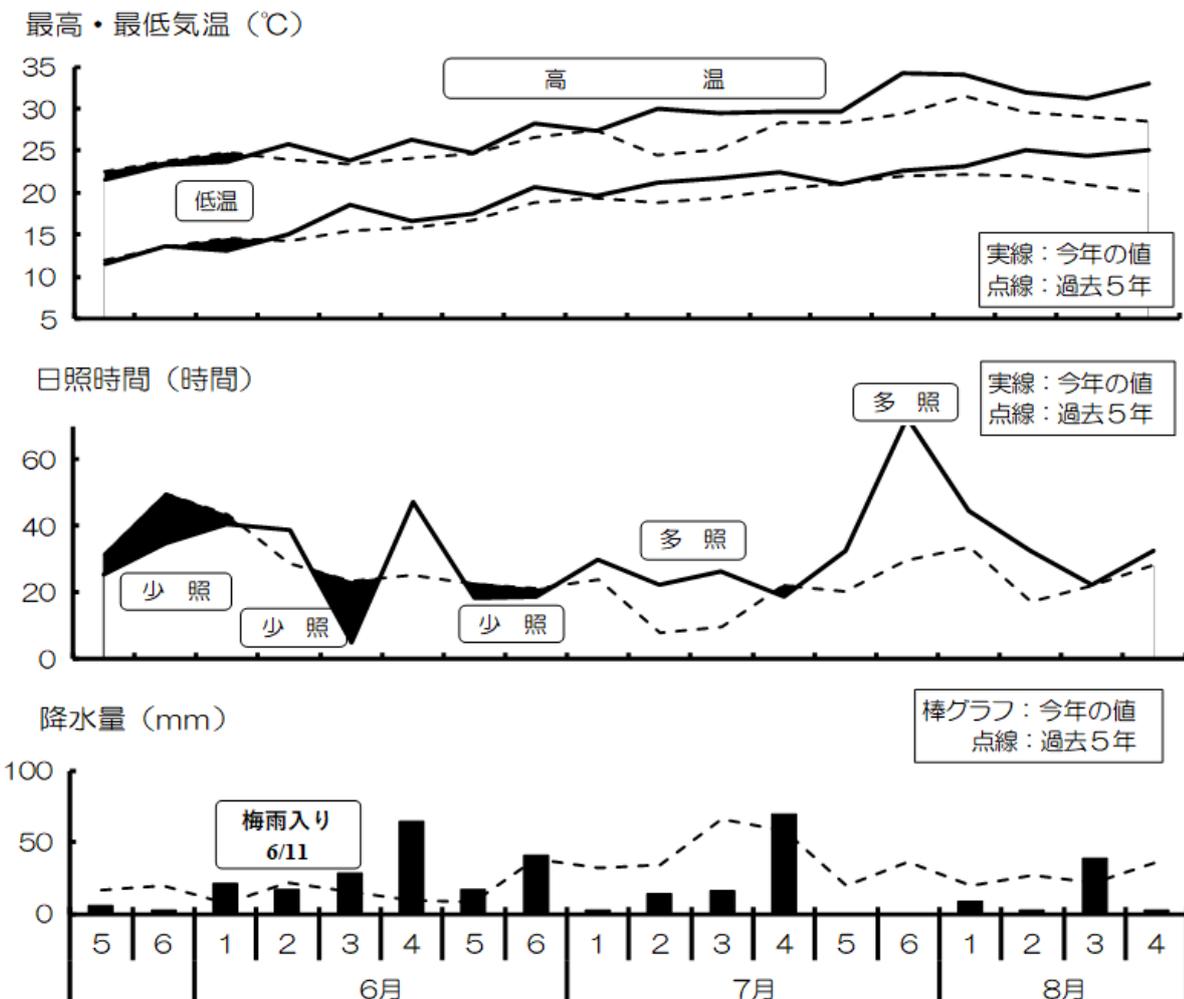


図1 気象経過（古川）

### (2) 出穂期

管内の出穂期は7月29日で平年より3日早くなりました。

表1 管内の出穂状況

地域	出穂始期	出穂期	穂揃期
管内全体	7月26日 3日早い	7月29日 3日早い	8月4日 3日早い
山間高冷	7月29日	8月3日	8月9日
西部丘陵	7月28日	8月2日	8月5日
北部平坦	7月25日	7月27日	8月3日

※1)出穂始期、出穂期、穂揃期は、それぞれ水稲作付 見込面積の5%、50%、95%以上が出穂した日。

※2) 平年差は前5か年（平成30年～令和4年）との比較

(3) 生育概況

生育調査ほの出穂期は、全地点で平年よりかなり早くなりました。穂揃期の葉色については、平年よりも淡い地点が多くなりました。

表2 生育ステージ及び穂揃期葉色調査結果

品種名	地区名	田植・播種月日 (平年差)	出穂期 (平年差)	穂揃期葉色 (平年差)	備考
ひとめぼれ	大崎市三本木	5月5日 1日遅い	7月28日 4日早い	31.7 (+0.8)	
ひとめぼれ	加美町小野田	5月17日 1日遅い	8月1日 5日早い	30.3 (-3.1)	
ササニシキ	大崎市古川	5月5日 4日早い	7月28日 6日早い	34.9 (+1.3)	
つや姫	色麻町四竈	5月4日 前年並	8月6日 4日早い	30.2 (-4.0)	前年比・差
だて正夢	大崎市三本木	5月12日 3日遅い	7月31日 3日早い	36.5 (+0.8)	
金のいぶき	大崎市三本木	5月11日 3日早い	8月3日 4日早い	33.6 (-1.0)	前年比・差
ゆみあすさ	加美町平柳	5月21日 (-)	8月1日 (-)	30.2 (-)	新規
ゆきむすび	大崎市鳴子温泉	5月23日 前年並	7月30日 8日早い	33.6 (-4.7)	前年比・差
みやこがねもち	大崎市岩出山	5月17日 平年並	8月4日 5日早い	32.2 (-0.9)	
ひとめぼれ (湛水直播)	加美町米泉	5月3日 2日早い	8月7日 6日早い	29.4 (-1.7)	

※平年差は、前5か年（平成30年～令和4年）の平均値との比較。

出穂期は、ほ場の全莖数40～50%出穂した日とする。

2 今後の管理

【水管理】

穂揃期以降は間断かん水として、上位葉や根の活力を維持して登熟の促進に努めましょう。登熟期の水分不足は、未熟粒の増加や千粒重の低下など、品質・収量を大きく低下させることから、落水時期は出穂後30日を目安としましょう。

【適期刈取】

①積算平均気温による判定

出穂期後の毎日の平均気温を積算して判定します。中生種（ひとめぼれ、ササニシキ）は1,000℃前後、山間地域の早生品種（やまのしずく等）は920℃前後が刈取適期の目安

になります。極晩生のつや姫の刈取始期は 1,000℃、終期は 1,200℃です。早く刈り過ぎると青未熟が多くなり、刈り遅れると着色米が発生します。刈取適期幅が狭いので注意しましょう。本年は、8月上旬以前に出穂したほ場では、940℃に到達する日数が短縮すると見込まれているので、刈遅れにならないよう注意しましょう。

表3 積算気温等による刈取適期の目安

品種名	積算気温	出穂後日数
ひとめぼれ	940℃～1,100℃	40日～45日
まなむすめ 蔵の華	960℃～1,050℃	
ササニシキ	930℃～1,170℃	45日～50日
みやこがねもち	950℃～1,150℃	
だて正夢	1,020℃～1,060℃を目安に	50日前後
金のいぶき	1,050℃～1,150℃	50日～55日
つや姫	1,000℃～1,200℃	

表4 出穂期後の積算平均気温到達日（8/21以降の気温が前5か年並での推移を想定）

地帯	積算気温	出穂期												備考
		7/25	7/27	7/29	7/31	8/2	8/4	8/6	8/8	8/10	8/12	8/14	8/16	
北部 平坦	940℃	8/30	9/1	9/4	9/6	9/9	9/11	9/14	9/17	9/19	9/22	9/25	9/28	北部平坦の 出穂期は 7/27
	1,000℃	9/1	9/4	9/6	9/9	9/11	9/14	9/17	9/19	9/22	9/25	9/28	10/1	
	1,100℃	9/5	9/7	9/10	9/13	9/15	9/18	9/21	9/24	9/27	9/30	10/3	10/6	
	～940℃日数	36	36	37	37	38	38	39	40	40	41	42	43	
西部 丘陵	940℃	8/31	9/2	9/5	9/8	9/10	9/13	9/16	9/18	9/21	9/24	9/27	9/30	西部丘陵の 出穂期は 8/2
	1,000℃	9/3	9/5	9/8	9/10	9/13	9/16	9/19	9/22	9/24	9/27	10/1	10/4	
	1,100℃	9/6	9/9	9/12	9/14	9/17	9/20	9/23	9/26	9/29	10/2	10/6	10/9	
	～940℃日数	37	37	38	39	39	40	41	41	42	43	44	45	

※北部平坦は古川、西部丘陵は川渡のアメダスデータ使用。8/20までは令和4年の値で、8/21以降は前5か年平均値。出穂期後の積算平均気温到達推定日は、出穂期翌日から積算平均気温が940、1,000、1,100℃を超えた日とした。

## ② 籾の黄化程度による判定

コンバインによる刈取始期の判断は、ほ場全体を平均して**籾の80～90%程度が成熟して黄色になり、穂軸が先端から3分の1程度黄変した時期**です。

## ③ 籾水分による判定

稔実籾の平均水分を目安に、刈り取り始めが25%、刈り取り終期が21%となります。

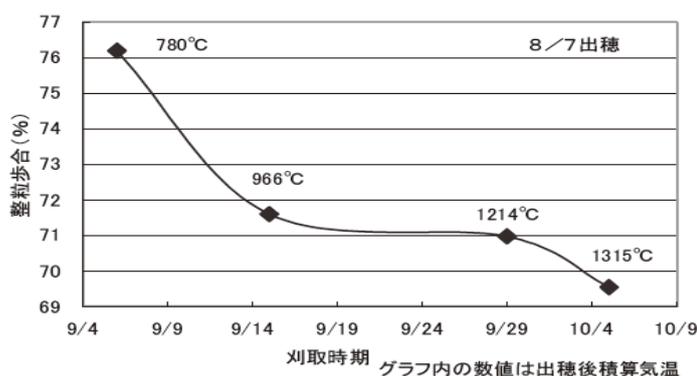


図2 刈取時期と整粒歩合の関係  
(平22年古試「ひとめぼれ」)

## 【収穫・乾燥・調製】

### ① 刈取作業

- コンバイン収穫では、**籾水分が25%以下を目安に刈取作業**を行きましょう。
- 複数の品種を刈り取る場合は、品種が替わる際に十分な清掃を行い、機械内における異品種の混入を未然に防ぐよう注意しましょう。
- ほ場内にクサネムやツククサがあると、脱穀時に種子が混入し、**米選機でも容易に取り除くことが難しくなる**ので、収穫作業前に必ず抜き取りましょう。

